

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランとは？

「第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画」において、重点施策の一つとして位置付けている「乳幼児期における教育・保育の質の向上」について、目指す乳幼児の姿や施策の方向性を乳幼児教育・保育に携わる関係者と共有し、乳幼児教育・保育のより一層の充実を図るために策定したものです。

○アクションプランの位置付け

「第五次東広島市総合計画」に基づく個別計画である「第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画」の下位計画

○計画期間 令和3年度～令和6年度（4年間）

第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画 基本理念

つながる つなげる 育ちあいのまちづくり

1 目指す乳幼児の姿

とことんあそび 豊かに育つ こころとからだ

子どもを取り巻くすべての人たちの連帯により、子どもの健やかな成長を支え、共に育つ「つながる つなげる 育ちあいのまちづくり」の基本理念を基に、目指す乳幼児の姿を定めました。

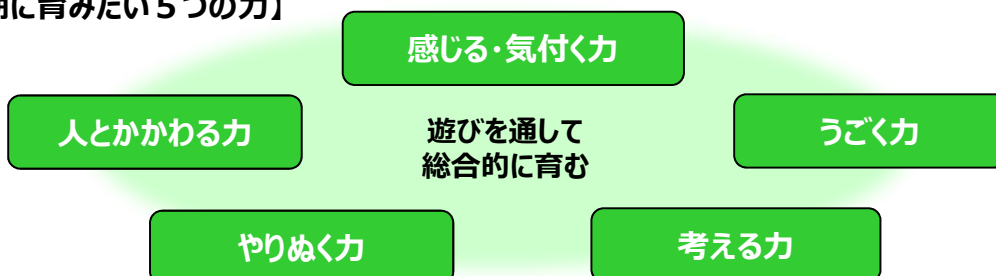
人間形成の基盤となる乳幼児期に、子どもが興味・関心を持ち、とことん遊びこむことで、「人とかかわる力」や「まわりの人への思いやりの心」、「困難を乗り越える力」、「自分の体の身のこなし方」、「考える力」などの力が育まれます。これがいわゆる「乳幼児期に育みたい5つの力」※です。

目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力は、遊びを通してこそ培われるのです。まさに「遊び」は「学び」です。

本市では子どもたちの遊びや活動の深まりを支えながら、育ちを見守ります。



【乳幼児期に育みたい5つの力】



※「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン(平成29年2月 広島県、広島県教育委員会)

2 プランの基本目標

基本目標

1

みんなでつくる（施設における教育・保育実践の充実）

施設における日々の教育・保育実践の充実を図るため、外部アドバイザーの助言等を活用し、園内での遊びを通じて、子どもの豊かなこころとからだを育めるよう、保育室や園庭等の環境づくりに取り組みます。

基本目標

2

ともしつながら（関係者との理解の共有・連携の促進）

保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭等の関係者が教育・保育の目標や内容について理解を共有し、核となる人材の育成により、取組みの広がりに向けた連携・連帯を促進します。

基本目標

3

いっしょに学び合う（職員間の相互理解・協働）

園内研修の充実等により職員同士が保育観・子ども観を共有し、互いに学び合う関係性を構築するため、施設長のマネジメント力強化等に取り組み、学び合う組織風土を醸成します。

基本目標

4

ちからを活かす（職員の資質・専門性の向上）

キャリアアップ研修機会の拡大や往還型による研修の実施等、実践に結び付くよう研修の内容を充実させることにより、職員個々のスキルアップを図り、教育・保育者としての資質・専門性を向上させ、情報発信できるように取り組みます。



3 目標達成に向けた主な取り組み



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援します

基本目標1 みんなでつくる（施設における教育・保育実践の充実）

○5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

外部アドバイザーの助言等を活用しながら、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。

○公開保育の充実

外部アドバイザーによる支援を受けながら公開保育を実践する過程を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。



基本目標2 ともにつながる（関係者との理解の共有・連携の促進）

○保育コーディネーターの育成・連携

専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーター※を育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。

○幼保小の連携

公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して連携を促進し、子どもの発達と学びの連続性について、円滑な接続を図ります。

○公開保育の充実（再掲）

公立・私立や幼稚園・保育園・認定こども園、小学校といった設置形態を問わない多様な関係者が参加することで、子ども観、教育・保育観を共有し、連携を促進します。



※教育・保育の場、子育て支援の場、地域において、就学前の子どもや家庭が抱える課題に的確に対応し、解決に向けた取り組みを行う中心的な役割を担う人材であり、東広島市独自の認定制度です。

基本目標3 いっしょに学び合う（職員間の相互理解・協働）

○施設長研修

働きやすい環境づくり、園内研修の重要性等について研修を実施し、施設長のマネジメント力を強化します。

○保育コーディネーターの育成・連携（再掲）

外部との連携だけではなく、園内における学び合いの風土づくりや職員間の連携においても重要な役割を担う保育コーディネーターの育成・連携を図ります。

○5つの力を育む魅力ある保育環境づくり（再掲）

保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、子どもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。



基本目標4 ちからを活かす（職員の資質・専門性の向上）

○子育てサポート研修の改編

キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上を職員の処遇改善につなげます。また広島県や広島県保育連盟連合会等が開催する研修も併せて活用することで、キャリアや目的に応じた内容が受講できる環境を整えます。

○施設長研修（再掲）

○幼保小の連携（再掲）

○公開保育の充実（再掲）

○保育コーディネーターの育成・連携（再掲）



推進するための仕組み

積極的な情報発信

各施設ならではの魅力や、日々の教育・保育の中での子どもの育ち等をホームページ等を通じて積極的に情報発信することにより、理解を促進します。

取組み内容の評価

保護者や職員、外部アドバイザー等様々な関係者によって多面的に評価することで、改善を図っていきます。



4 令和3年度の取組み

（1）5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

子どもの主体的な活動に必要な環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。

（2）公開保育の充実

外部アドバイザーによる支援を受けながら公立4施設で公開保育を実施します。実施にあたっては、多様な関係者が参画できるような仕組みづくりを検討します。

（3）施設長研修

対話による語り合いによってお互いを高める組織文化やマネジメントの重要性についての施設長研修を実施します。

（4）保育コーディネーターの育成、連携

- ・保育コーディネーターを育成するための養成講座を開催します。（3回）
- ・資格取得者を対象としたフォローアップ研修のほか、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進する仕組みを検討します。

（5）幼保小連携研修会の実施

共通のテーマに沿った幼保小連携研修会を実施します。また小学校就学に際し常時連携が取れるような仕組み作りを検討します。

（6）保育所・幼稚園の魅力発信

それぞれの園・所が自らの「よさ」を発見し、ホームページなどで広く情報発信をします。

